

マドロスの唄

波に浮寝の

マドロス暮し

潮の遠鳴りや

子守唄。

仰ぎや ほのかな

マストの月に

國の港が

偲ばれる。

想ひ はるく

デツキに立てば

波路ひとすじ

とぶかもめ。

港なつかし

酒場が戀し

明日の上陸

待ち遠し。

廣瀨氏治篇

坊やの唄

頬はリンゴで 手先は紅葉
金の星でも 真球の貝も

お前の瞳ア

かなはない

パパが漁つた ネオンの灯でも

ベープメントの マドモアゼルも

お前の笑顔にア

かなはない

行く日来る日は 氣まゝなパパに
浮かんで消へた 想ひもあれど

お前の寝顔ア

かなはない。

宵の鼻唄

窓にしろじろてる月は

泪を拭ふハンケチさ

星かすみれか知らないが

センチメントはもうすてた

ふはりふはりと流れてく

タバコは心の煙幕さ

夢かまことか知らないが

くよくよすることもうやめた

遠く聞えるチャルメラは

しやれた 牝猫の泣聲さ

エキゾチックか知らないが

巷の戀はもうさめた。

胸の扉ア

胸の扉ア

娘の生命なら

銀の合鍵ア

運命の謎よ

戀の美酒ア

咲いた花なら

こぼれる唄は

情の吐息よ

赤い花びら

燃える唇なら

うるむ瞳は

心の窓よ

にじむ泪は

真球の星なら

庭の静寂は

沈んだ夢よ。

佐渡ヶ島短唱五題

風なまにのせられ するよ佐渡へ

佐渡は浮島 あだ姿

岬さかの燈臺 ながし目とろり

なぜに心が 騒ぐやら

おけおき輪かになれ 濱風なびく

ばちおのさばきに 月かける

たゞのひと時 ビールの泡に

別れともい 佐渡の友

風にさそはれ デツキに立てば

静か西陽をのむ 夏の佐渡

民謡原野消息集

昭和八年一月一日至十二月三十一日

- ◇故中崎伊一郎君追悼號刊行 民謡原野三月版を中崎伊一郎君(民謡原野元同人)追悼號として發行
- ◇芙蓉曲發表 白木楓葉氏「春だどよ」「こぼろぎ」の二篇及び江崎香風氏「里歸り」(杵屋佐吉氏曲)は二月二十一日大阪朝日新聞社講堂で發表さる。
- ◇葉月の淵刊行 中崎伊一郎君遺稿集「葉月の淵」を早川嘉一氏出版(三月中旬)
- ◇新島喬氏 同人に加盟
- ◇早川嘉一氏歡迎會 五月二十日午後六時から岐阜市遊船事務所で開催 二十餘名出席
- ◇芙蓉曲放送 白木楓葉氏作「春だどよ」は五月二十四日BKから杵屋佐吉氏の三味で放送さる。
- ◇芙蓉曲放送 岩間純氏作「おぼろ夜」白木楓葉氏作「春だどよ」は五月二十四日AKから杵屋佐吉氏

- 氏によつて放送さる。
- ◇鹿山鷺邸氏來岐(六月三十日)
- ◇白鳥省吾氏來岐 本社主催の文藝講演會出席のため來岐(七月十二日)
- ◇松本あき正氏來岐(八月五日)

- ◇民謡原野選集刊行 民謡原野選集第一輯(一九三三年版)が八月上旬刊行された執筆者は岩間純、江崎香風、早川嘉一、布瀬富夫、廣瀬氏治、松本あき正、渡邊夫夢、北村邦夫、安藤紋太郎、武山しゅん二、服部忠喜致、白木楓葉の十二名である。
- ◇民謡原野選集出版記念會 八月五日午後五時から岐阜市商工會議所に開催 二十餘名出席
- ◇民謡原野選集記念號刊行 民謡原野八月版をこれにあて山岸曙光、廣瀬充、中山輝、安岡黒村、鹿山映二郎、佐々木縁亭諸氏執筆
- ◇大野加牛氏 同人に加盟さる。
- ◇ひとり旅刊行 江崎香風氏第二民謡集「ひとり旅」を岐阜民謡社から刊行

- ◇ひとり旅出版記念會 九月十四日午後六時から華陽軒で開催 十數名出席
- ◇本社音楽部放送 童謡雀のまんま(松本あき正詩)長良大橋(岩間純詩)歸りのお馬(武山しゅん二詩)水車(白木楓葉詩)ひぐらし(白木楓葉詩)を十月十日CKから放送
- ◇芙蓉曲放送 江崎香風詩「里歸り」白木楓葉詩「こぼろぎ」「渡り鳥」は作曲者杵屋佐吉氏によつて九月三十日AKより全國中継で放送
- ◇芙蓉曲演奏 十一月一日名古屋で白木楓葉詩「春だどよ」「こぼろぎ」の二篇が杵屋佐吉氏の三味で公演さる。
- ◇紡績小唄發表 北村邦夫詩「紡績小唄」江崎香風氏詩「旅は道づれ」は文部省主催労働者講習會(十一月六日から二週間岐阜市で開催)に於て發表
- ◇本社主催童謡祭の舉行 十月二十八日岐阜市公會堂に於て開催す。

- 野原(早川嘉一詩 小股 久曲)
- 雨ざんざ(江崎香風詩 伊藤宣二曲)
- コンコン小雪(白木楓葉詩 伊藤宣二曲)
- 長良大橋(岩間純詩 松田鐵雄曲)
- 水車(白木楓葉詩 松田鐵雄曲)
- 腕相撲(近藤明詩 松田鐵雄曲)
- 沖の小島(岩間純詩 ビクター曲)
- ひぐらし(白木楓葉詩 坂田義一曲)
- メンメン仔山羊(江崎香風詩 山内伶晃曲)
- 雨の音楽(佐藤康二詩 伊藤宣二曲)
- 狸のチンドンヤ(北村邦夫詩 伊藤宣二曲)
- フラフラとんぼ(岩間純詩 小股 久曲)
- 迷子(廣瀬氏治詩 伊藤宣二曲)
- どろんこ道(新島喬詩 伊藤宣二曲)
- てるてる月夜(新島喬詩 伊藤宣二曲)
- 木影のハンモック(井崎進詩 松田鐵雄曲)
- 歸りのお馬(武山駿二詩 松田鐵雄曲)
- 雀のまんま(松本明正詩 松田鐵雄曲)

朝顔のラッパ(稻葉 曉詩 松田鐵雄曲)

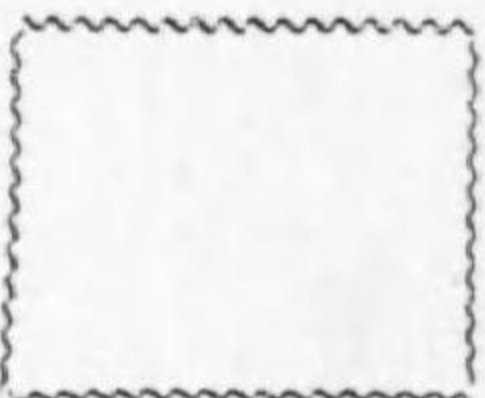
執筆者アドレス

岩間 純 岐阜市驛前華陽軒
 井崎すゝむ 大垣市北切石町 了信寺内
 早川 嘉一 富山市柳町 二七
 伊藤 巷史 名古屋市西區則武町權現七四
 原 比呂志 名古屋市西區新道町三丁目
 新 昆 喬 東京市日本橋區靈岸島一丁目一〇ノ二宮岡方
 布瀬 富夫 富山市泉町 一二
 渡邊 去夢 名古屋市西區藪下町四六
 大野 加牛 岐阜市松鴻町一丁目
 松本 あき夫 金澤市味喰藏町五丁目
 安藤 紋太郎 岐阜縣加茂郡加治田村
 北村 邦夫 東京市荒川區南千任町大日本紡績社宅

島 久志 岐阜縣稻葉郡島村
 白 木楓葉 岐阜市堀江町六番地
 江 崎香風 岐阜市忠節町二丁目
 廣 瀬氏治 富山市外稻荷 一二

昭和九年七月一日印刷
昭和九年七月五日發行

民謠原野選集



定價 壹圓貳拾錢 (送料八錢)

編纂者

岐阜市堀江町六番地
白木楓葉

發行者

岐阜市松鴻町一丁目二十一番地
大野増太郎

印刷者

岐阜市七軒町十二番地
河田貞次郎

發行所

岐阜市堀江町六

岐阜民謠社出版部



終